

ていない。上端部に近い部分はどこまでを一文字と認識すればよい
か判断としない。通常の漢字では見慣れない字体のものも見られ、
釈読を難しくしている。

圭頭状の形状や祭祀具を付近から共伴していることから、祭祀関
係に用いられた可能性が高い。特に、中間付近に「井」（菩薩）の
ような文字も見られるので仏教関係という推測も可能である。一方、
水田と思われる方形区画施設に伴うことを考慮すると、水田農耕な
どに関係する可能性も想定される。

なお、木簡の釈読にあたつては奈良女子大学館野和己氏・新潟大
学小林昌二氏のご教示を得た。

9 関係文献

（財）新潟県埋蔵文化財調査事業団『新潟県埋蔵文化財調査事業団年
報 平成一三年度』（二〇〇二年）



（田中一穂）

木簡研究 第二二号

巻頭言—WEB版木簡データベースの公開に思う— 石上英一
一九九八年出土の木簡

概要 平城京跡右京七条一坊十五坪 秋篠・山陵遺跡 薬師寺旧境
内 藤原京跡右京六条四坊北西坪 大藤原京跡左京北五条三坊南西
坪 飛鳥池遺跡 飛鳥池東方遺跡 飛鳥東垣内遺跡 川原寺跡 吉
備池院寺 長岡宮跡 平安京跡左京三条三坊十五町 平安京跡左京
七条二坊八町及び本園寺 鳥羽遺跡・鳥羽離宮跡 大藪遺跡 興戸
宮ノ前遺跡 武者ヶ谷遺跡 河守遺跡 難波宮跡 大坂城下町跡
長保寺遺跡 溝昨遺跡 玉櫛遺跡 釣坂遺跡 加都遺跡 豊岡城館
遺跡 岩井枯木遺跡 宮内黒田遺跡 姫路駅周辺第四地点遺跡 古
網干遺跡 六太A遺跡 櫛田地区内遺跡群奥ノ垣内地区 内垣外遺
跡 宇津宮辻子幕府跡 汐留遺跡 江戸城外堀跡（四谷御門外橋
詰・御堀端通・町屋跡） 法光寺跡 白鷗遺跡 池之端七軒町遺跡
浅草寺遺跡 上千葉遺跡 宮町遺跡 小谷城跡（伝知善院跡） 尾
上浜遺跡 屋代遺跡群（北陸新幹線関係） 榎田遺跡 一本柳遺跡
市川橋遺跡 柳之御所遺跡 志羅山遺跡 後田（旧月記）遺跡 洲
崎遺跡 福井城跡(1) 福井城跡(2) 神野遺跡 堅田B遺跡 広坂遺
跡 中保B遺跡 東木津遺跡 栃谷南遺跡 榎井A遺跡 下ノ西遺
跡 沓杉遺跡 砂山中道下遺跡 下町・坊城遺跡C地点 船戸川
崎遺跡 三田谷I遺跡 熊山田散布地 岡山城二の丸（中国電力変
電所）遺構 新道（清輝小）遺跡 米田遺跡 百間川米田遺跡 四
日市遺跡 下戸遺跡 長登銅山跡 観音寺遺跡 平田七反地遺跡
元岡遺跡群
一九七七年以前出土の木簡（二一）
平城京跡左京二条二坊十坪
釈文の訂正と追加（二一）
長岡京跡（二八号） 東浅香山遺跡（二〇号） 伊興遺跡（一九
号）
シンボジウム「長屋王家木簡をめぐる」の記録
削屑からみた長屋王家木簡：渡辺見宏、長屋王家の米支給関係木簡
：勝浦令子、長屋王家の経済基盤と荷札木簡：楠木謙周、討論のま
とめ：東野治之
木簡の撮影
書評 今泉隆雄著『古代木簡の研究』 井上直夫
森 公章
彙報

頒価 五五〇〇円 送料六〇〇円